

令和7年度 第2回 静岡県立天竜高等学校春野校舎 学校運営協議会議事録

1 日時 令和7年10月29日（水） 午後1時30分から3時30分

2 場所 静岡県立天竜高等学校春野校舎 応接室

3 委員 尾畠 佳志（浜松市春野支所長）
北野 昌宏（春野中学校校長） ※欠席
田中 敏司（春野中学校区青少年健全育成会会长）
中田 宗男（同窓会会长）
松田 直美（前PTA会長）
松本 常志（学校後援会会长）

4 内容

- (1) 校長あいさつ
- (2) 学校の様子について（5限目 授業参観）
- (3) 議題「防災対策と地域連携による生徒の安全確保」
 - ア 荒天時における教育活動の実施（登下校の安全確保）について
 - イ クマ出没対応マニュアルの作成について
 - ウ 秋葉線の代替バス運行実証実験について
- (4) 学校運営に関する意見交換

5 議事録（要点）

- (1) 校長あいさつ

令和7年度2回目の学校運営協議会に、お集まりいただきありがとうございます。昨年度、天竜高校と浜松市との協定を結びました。その提携を受けて、早速、12月20日（土）に、天竜区主催の天竜川・浜名湖地域12市町村合併10周年記念トーキイベントが、校歌の作曲者をお招きして、天竜高校二俣校舎体育館を会場に開催されます。秋葉バスについては、現在は通常通り運行されています。台風の影響で1年半の運休がありましたが、そうした場合に備えて秋葉バス協議会で話し合いがされています。また、近年の全国的なクマ被害のニュースを受け、静岡県でも何らかの対応が求められると思います。山間部はどこでもそうですが、クマ被害は起こりうることではないかと思います。本校でも万一に備え、対応の検討をしていきたいと考えています。それから、3年生の進路状況について、昨年以上の売り手市場ということもあり、就職希望者は様々なところから内定をいただいている。進学希望者も希望する学校の入試に向けて頑張っているところです。本校の授業の様子等をみていただきながら、御助言等いただけたらと思います。本日は、よろしくお願ひいたします。

(2) 学校の様子について（5時限目 授業参観）

5限の授業（1年生から3年生の各授業）を参観した。

(3) 議題「防災対策と地域連携による生徒の安全確保」

ア 荒天時における教育活動の実施（登下校の安全確保）について

本校「学校危機管理マニュアル」の該当頁の内容について、生徒、保護者への周知状況と併せて説明した。

イ クマ出没対応マニュアルの作成について

最近のクマ被害のニュースと春野地域のクマ目撃情報（県発表）を踏まえ、万一に備えて、クマ出没対応マニュアルの内容と作成スケジュールについて説明した。

ウ 秋葉線の代替バス運行実証実験について

今後起こりうる災害時に備えた秋葉線の迂回ルートで運行する代替バスの運行実験について説明した。

(4) 学校運営に関する意見交換

- 県公表のクマ目撃情報は、足跡を見たというようなものではなく、後姿を見たというものが記録されているが、この辺りの情報はほぼカモシカだと思われる。お尻だけ見えるとクマと見間違えてしまう。この地域に長年住んでいるが、生きているクマはみたことがない。ただし、一昨年、秋葉山の登山道で目撃されたのはツキノワグマだったので、地域で警戒した。（春野校舎では、1階の扉や窓を閉じて安全確保をした。）これまで被害はないが、地域の山中にクマはいると思われる。目撃情報があった際は、春野支所から各所に連絡するとともに、必要なら同報無線等も活用して注意喚起する。春野支所には連絡網を含む対応マニュアルがある。生徒、保護者の安心、安全のためには、学校でクマ出没対応マニュアルの作成をしておくのは良いと思う。
- 地域的には、サルやカモシカといった野生動物が多い。人がイノシシにぶつかったという話は聞かないが、車がカモシカやイノシシとぶつかって、酷く壊れたという事故がたまにある。カモシカは、暗くなつてから、飛び出したり、道の真ん中に立っていたりがあるので、気を付けてほしい。サルについては、遭遇して怪我をしたということはないが、威嚇されたということはあった。逆に、人懐っこいサルがいて、洗濯物を持っていかれたり、背中に上ってきたりしたことがあったが、保護して遠い山の方に放してからは、そういうことはなくなった。クマ出没対応マニュアルの付録的にその他野生動物についても触れてもよいかもしれない。
- 春野校舎の生徒にとってバス路線は生命線なので、秋葉バスの災害時に迂回ルートを通る代替バスを考えていただけるのは、本当に有難い。実現に向けてはまだまだ様々な手続きがあるが、まずは実証実験には出来る限り協力していきたい。
- 茶の文化講座や奥野養魚場見学といった地域密着のプログラムも充実している。地域の人材や場所はどんどん使ってほしい。
- 授業の様子をみせていただいて、ICT化が進んでいる。授業以外にも、スタディサプリで、それぞれが学ぶ内容を選び、自分のペースで学習できるなど、時代に対応した教育環境が整っているのが良い。

- 生徒一人一人にきめ細やかに対応してくれている。授業内容も様々な分野を専門的に学べるものになっている。高度なレベルの授業が複数あって、個々の進路実現につながると感じた。
- 浜松湖北高校佐久間分校が入学者数減少で浜松市による全国からの生徒募集が行われている。春野校舎も地域的な条件は同様なので、生徒募集には力を入れたい。地元中学校からの進学割合が増えると有難い。
- 春野校舎は、生徒数が少なく部活動数が少ないことやチームスポーツの部活動ができないことは、中学生の進路選択でウイークポイントになっていると思う。二俣校舎での合同練習をしている部活動はあるが、合同部活動は現在の制度では難しい。今後、様々な可能性を探りたい。
- 静岡県教育委員会では、春野校舎は、他の分校とは違い独立性が高く、同じ天竜高校だが、二俣校舎とは別の学校として考えられている。教育課程や学校行事等も二俣校舎とは別に運営されている。春野校舎の特色ある教育を充実したい。

6 その他

第3回は、1月23日（金）に開催する予定である。当日、学年の枠を越えた探究発表会も開催予定である。